



報道関係者 各位

平成24年7月26日

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課

課長 小野 暁史

課長補佐 齋藤 重正(内線7471)

計析第一係(内線7470)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2812

## 平成23年簡易生命表の概況

厚生労働省では、このほど、「平成23年簡易生命表」の概況を取りまとめましたので公表します。

「平成23年簡易生命表」は、日本にいる日本人について、平成23年1年間の死亡状況が変化しないと仮定したときに、各年齢の人が1年以内に死亡する確率や平均してあと何年生きられるかという期待値などを死亡率や平均余命などの指標(生命関数)によって表したものです。

日本の生命表として、厚生労働省では、「完全生命表」と「簡易生命表」の2種類を作成・公表していますが、「完全生命表」は国勢調査による人口(確定数)と人口動態統計(確定数)による死亡数、出生数をもとに5年に1度作成し、「簡易生命表」は推計人口と人口動態統計月報年計(概数)による死亡数、出生数をもとに毎年作成しています。

### 【結果のポイント】

- ・男性の平均寿命は、79.44年で平成22年の79.55年から0.11年減少した。(2頁)
- ・女性の平均寿命は、85.90年で平成22年の86.30年から0.40年減少した。(2頁)
- ・国別に平均寿命をみると、厚生労働省が調査した中では、男性、女性とも世界でトップクラスとなっている。  
なお、香港は国ではないが、香港の男性の平均寿命は80.5年、女性の平均寿命は86.7年で、日本を上回っている。(4頁)
- ・地震による死因を除去した場合の平均寿命は、男性で0.26年延びて79.70年、女性で0.34年延びて86.24年となっている。(15頁)

※詳細は、別紙概況をご参照ください。